

文明の利器？

de JA1RIZ

自分の様なアナログ文明にドブプリ浸かっていた者にとっては、デジタル文明本当の所はなじみにくい。

携帯電話？…要らん！、携帯メール？…な要らん！ 电脑(パソコン)？…要らない！… ってなものである。

今の状況は、30～40才台の人はほとんどがその恩恵を受け、中高年層の人は一部の人のみが恩恵を受けているという、『過渡期』であるといえる。

しかし、就職試験のエントリーは当該会社等のホームページをアクセスしてそこからキッカケを作るのが一般的になってきたり、ライフラインの請求内容はインターネット情報で調べるとか、中高年の求人募集の条件に「ワード、エクセルができる人」等々。良し悪しは別として、出来て・やって、それが当たり前の時代になってきた。

確かに、文章を書くにしても手書きの方が味があり又电脑より頭を使って作業するので良し。無線の移動情報もインターネット情報をとらなくてもゴーイングマイウェイで偶然性を求めてやるのだから不要。ウイルスだとかスパイウェアだとか、それによる個人情報流失だとか。だから…。・・・ということも言えるかもしれない。

ただしかし、時流ということもある。便利なものは巧く利用した方が良いに決まっている。特に情報伝達の効率化をはかるためには効力絶大であることに異議を唱える人はほとんどいないであろう。伝達する為の紙の不要、文書形式の標準化が容易（B5サイズをA4にしたり、その逆もまた可）、伝達時間の即時性、伝達する為の費用削減・・・の長所がある。一方、短所は機器設備費及び回線費が発生する等の条件整備が必要になる。

自分の場合、使用する前は不要な面ばかり気になったが、いざ使用してみると情報收拾・情報発信には大いに役立っている。HP(ホームページ)を作ったりだとか“ブログ”だとかで自ら発信したりその他の機能を充分使いこなすことができれば尚よろしいのでしようが…。

それにしても我がXYLを始めとして世のオバ様達には脱帽するのである。携帯電話を持ち、携帯メールをしている。60、70代の人達までも多くがこれを“活用”しているのだ。聞くを恥とせず娘でも近くの若者達に教を請うて使いこなしている。

我らもこのバイタリティに学ばねばならない。

文明の利器は使用してこそナンボである、使わなければ意味がない。

確かに、この利器は使い方を間違えると字を忘れてたりで頭脳の退化を招き、ウイルスを撒き散らし、そして個人情報の流失を招き…。いろいろの短所もある。使い方は大いに工夫の余地があり、大事なのは使い様である。この時代の流れに乗ってみるのも良いではないか。

「アナログは遠くなりにはけり…」の感がするこの頃である。